

## 自己評価公表シート

令和7年度 第2回 津山社会福祉事業会 城西保育園

### 1. 本園の保育目標

子どもが健康で心豊かに成長するため、保護者や地域社会とともに子育てを進めます。

1. 心身ともに健康で丈夫な子どもを育てます。
2. 豊かな生活経験のなかから基本的な生活習慣を身につける子どもを育てます。
3. 安心した気持ちでさまざまな活動を通して共通の目的を見出し、協力して遊びを楽しめる子どもを育てます。
4. 豊かな感性を持ち、自分の思いが表現できる子どもを育てます。

### 2. 評価項目の達成及び取り組み状況

| 評価項目  | 取り組み状況   |
|---|--|
| <b>保育について</b><br>保育のモットー・保育目標や行事について職員間で共通認識を持ち、子どもの主体性を大切にしたい保育を行う。  | 定期的に、計画について話し合いを行い、行事の内容等を子どもの成長発達に合わせ内容の見直しを行う。行事においても、子どもの主体性を重視した内容への見直しを行う。保育園の保育目標のもと、各クラスで1年間の目標を定め取り組むようにしている。  |
| <b>経営・組織について</b><br>自分の職務や役割分担を理解し、職員間で意見交換しながら方向性を決定し、責任を持って仕事に取り組む。 | 毎月の職員会議やチーム会議に全職員が参加できるようにしている。その中で出た意見なども話し合うようにしている。しかし、会議では意欲的に意見を言い合っている話をするまではいかない為、グループワークを行い意見を出しやすい工夫をしている。感染症対策や災害時引き渡し訓練などは、定期的に行うことで対応について共通理解を図るようにしている。 |
| <b>資質向上について</b><br>保育士・栄養士として人間性と専門性の向上のため、自己研鑽に努める。                  | 研修計画に基づき、各研修に参加している。また、子どもの主体的保育に取り組む中での悩みなどをチーム会議を中心に話を行ったり、オンライン研修を1年通して行う。研修内容を周知、共有することが課題となる。   |
| <b>その他</b><br>異年齢児での活動を通して遊べる環境作りに取り組む。                               | 3歳児以上クラスでは、異年齢児チームを作り年間の計画のもと活動を行うことができている。その中で、相手の話を聞いたり、5歳児が3歳児に合わせて遊ぶ姿も見られるようになってきている。活動内容も子ども達と決めながら進め、子どもが主体的に遊べる環境づくりに努めた。                                     |

### 3. 今後取り組むべき課題

| 課題  | 具体的な取り組み内容  |
|---|---|
| 各年齢の子どもの発達を捉えた「子どもの主体的な保育」の充実を図る。         | 子どもが主体的に遊び、考えや気づきを十分に表現できる環境づくりについて話し合い充実を図っていく。引き続きオンライン研修をチーム会議で受講しながら話し合いをし、保育士の質の向上に努めていく。                |
| 保護者、地域、専門機関との連携を図る。                       | 保育のねらいや保育内容について保護者に分かりやすく伝えたり、保護者の話を傾聴する姿勢で信頼関係を築く。また、地域や小学校との交流を計画的に取り入れて行く。                                 |
| 園の現状を把握し、行事等の見直しや子ども一人ひとりに応じた対応ができるように努める | 行事内容を検討し、子どもの主体性を大切にしたい内容にしていく。また、その価値をしっかりと保護者に伝え一人ひとりの成長が見られるようにしていく。支援方法など常に化する為、職員間で情報を伝え合い同じ支援ができるようにする。 |
| 職員の働き方を改善し、業務を計画的に進める。                    | 業務の見える化を意識し、ICTの利用により、業務を計画的に行えるようにする。行事や業務内容、業務標準書などの見直しを行い、時間を意識した働き方を進める。                                  |